

どう使われたか、私たちの一般会計131億円 特別会計95億円 議員が総点検

歳入

問 都の市町村総合交付金が増額になったが、理由は。

企画課長 28年8月の台風9号の被害による支出が大きいと考える。

広報

問 ホームページのリニューアルに約1,460万円支出されているが、その成果は。

秘書広報課長 トップページの中心にキーワード検索欄を設けるなど検索性を高めた。職員が個々の端末で記事を作成できるように更新の迅速性を図った。検索数が増加しスマートフォンなどからの検索も増えた。

健康

問 28年度、新たに管理栄養士を配置している。効果は。

健康課長 慢性腎臓病、糖尿病の予防として効果的な指導ができた。母子保健事業では、母親と顔の見える関係作りによる子どもの栄養相談を行った。また産業課と連携して瑞穂の野菜を使ったレシピ作りなどの活動も行った。



管理栄養士による相談の様子

まちづくり

問 28年度、不耕作地解消の成果は。

産業課長 11件、約1万2,578平方メートルの利用権を設定し、耕作農地になった。また、狭山池上流部で親子体験の小麦まきを行った。



小麦まきの様子(狭山池上流部)

問 栗原土地地区画整理事業に向けて、毎年約340万円経費を充当しているが、11年間進展がみられない。対策は講じたのか。また、オオタカなどのモニタリング調査を隔年にできないか。

都市計画課長 JRの駅の新設、農振地域の代替地の確保など困難な状況である。工業系への変更も含め、少し将来計画を修正して考えてはという提案をしている。また、モニタリングはオオタカ保全計画検討委員会の意見を聞きながら考えていきたい。

福祉・健康

問 福祉バスの利用者増、利便性向上に向けて、どう工夫されたのか。

高齢課長 高齢者施策やイベント、子育て関係の事業などのチラシを毎月つくり、バスの中に設置した。また、イベントなどに福祉バス利用者が参加しやすい心がけた。

問 老人クラブの活動数が少ないところは56回、多いところは550回。会員数も異なる中で、補助金が一律27万3,000円である。制度の見直しは検討されたのか。

高齢課長 近隣自治体を調査中。会員割だけでなく、クラブ会員の声も聞きながら、検討していきたい。

産業

問 産業見本市等出展支援事業費補助金の成果は。

産業課長 実際に受注に繋がった事業者もあつた。29年度、新たに出展している企業もあり、需要は増えている。

教育

問 フューチャースクールが小学校まで拡充された。その成果は。

指導課長 各校20回実施した。補習指導することで、基礎的、基本的な内容の定着に繋がったと考える。また、子ども達は主体的、積極的に参加していた。

問 適応指導教室「いぶき」の成果は。

指導課長 中学生が11名通所していたがそのうち7名が学校復帰できた。更に、中学3年生の生徒はすべて高校進学した。

問 28年度は学習サポーターを1学年分削減したが、現場から増員の声は上がらなかったのか。

指導課長 校長会から増やしてほしいとの要望が出ている。

環境

問 ごみの出し方について外国語版が作成されているが、新たな工夫はされたのか。また、その成果は。

環境課長 28年度はスペイン語とベトナム語を追加し、6か国対応になった。ごみの出し方を理解していただけたようになったとの声が届いている。

問 空き家等実態調査委託で全町9,920件の建物を外観目視後、老朽化が進んでいるような206件を抽出し、アンケートを行って報告書をまとめたとのことだが、どのようなのかが明らかにされたか。また、防犯・防災面での視点は入っていたか。

環境課長 町内の全体的な概要がつかめた。土地と建物の権利関係など非常に複雑なものもあり、対応は難しい。防犯・防災面については、今回の調査内容には含んでいない。



チェーンソーを使った救出訓練